

2021年 山口県スキー技術選手権大会 参加選手の皆様へ

■はじめに

新型コロナウイルスの感染を最大限に防止しながら競技会を運営するためには、選手、指導者、保護者、チームスタッフ、競技役員全ての方の理解と協力が必要である。ひとり一人が自覚と責任をもって自己防衛することが重要となります。

参加者の遵守事項

1. 大会の2週間前から大会当日まで下記事項に該当する場合は、参加の見合わせてください。

- ・発熱(37.5℃以上)を認める。
- ・せき、のどの痛みなど風邪の症状がある。
- ・だるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。
- ・嗅覚や味覚の異常がある。
- ・体が重く感じる、疲れやすい等の症状
- ・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触歴がある。
- ・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる。
- ・参加14日前までに政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある、または当該在住者との濃厚接触歴がある。

2. 【受付】

別紙1(体調チェック報告用シート)を受付時に提出のこと!

- ①<遵守事項1.>に該当する参加者については参加を見送るようにする。
- ②入り口では検温・マスクのチェック・手指の消毒を行う。
- ③係の方はマスク・手袋・フェースシールドを装着する。
- ④検温の実施と簡易的な問診による体調のチェックを行う。※連続した複数日で開催する場合は毎日

3. 【開会式・閉会式会場】

- ①「参加者の時間差入場」「待機人数の削減」「人との距離を考慮した目印」「スタッフと参加者の入退場動線を分ける」等の対策をとる。
- ②「マスクの着用」「大声での会話」「対面での会話」等飛沫感染予防について注意を促す。
- ③入場時に検温・マスクのチェック・手指の消毒を行う。
- ④係の方はマスク・手袋・フェースシールドを装着する。

- ⑤開・閉講式における関係者挨拶は極力減らすよう努める（1名を原則とする）。
- ⑥事務連絡や役員紹介は極力減らすよう努める（書面で説明する）。

4. 【競技会場】

- ①リフトやゴンドラに乗車する際は、マスクを着用し、対面での会話は控える。その他、監督官庁からの指導に従うこと。
- ②外したマスクは自身で管理できるよう袋に入れること。
- ③大きな声での会話や指導はしないこと。
- ④飲食については、指導場所以外で行わないこと、また共有しないこと。
- ⑤時間に余裕を持って行動すること。

5. 【選手待機場所】

- ①1～2mの対人距離を取るように目印をする。
- ②「待機人数の削減」「人との距離を考慮した目印」、「マスクの着用」「大声での会話」「対面での会話」等飛沫感染予防について注意を促す。
- ③屋外のスキー場ではフェイスマスクを使用している場合は、マスクの着用の強制はしない。対人距離に十分注意し、選手が溜まりすぎないように、予め選手にスタートエリアに入場する時間を指定する。

6. 【コーチの活動】

- ①選手への指導やアドバイスも、ガイドラインを遵守のこと。
- ②接触を伴わない、密にならない指導を行うこと。
- ③「マスクの着用」「大声での会話」「対面での会話」飛沫感染対策を促す。

7. 【観客席】

- ①< 遵守事項1.>に該当する観客については観戦をお断りする。
- ②親兄弟・応援団等が密にならないように、常に1～2mの対人距離を保つよう注意を促す。
- ③選手・関係者と観客の入場動線を分ける。
- ④「マスクの着用」「大声での会話」「対面での会話」等飛沫感染予防について放送等で注意を促す。
- ⑤飲食については、指定された場所以外では行わないよう注意を促す。
- ⑥ゴミは持ち帰るよう指導する。また、捨てる時はビニール袋等に封印すること。なお、使用済のマスクは会場で破棄せず、自身で持ち帰ること。

選手・関係者の皆様に守っていただきたい事

1. マスクの着用について

- ①選手は競技中・ウォーミングアップ・クールダウン時を除いて、常時マスクを装着する。(屋外においては防寒・暴風のためのフェイスマスクやネックウォーマー等でも可。待機時間や休憩等屋内で過ごす際にはマスクが望ましい。)
- ②ウォーミングアップ後や競技直後、呼吸が落ち着くまでマスクは装着しなくても良いが、荒い呼吸は飛沫が多くなり感染リスクが増大するため、対人距離や咳エチケットに留意すること。
- ③コーチ、審査員、スタート地点のスタッフ等選手の近くで活動する者は常時マスクを着用すること。マスクを外した選手と会話することで目の粘膜に飛沫が飛ぶ可能性を考慮し、フェイスガードやゴーグル、サングラス等も装着することが望ましい。
- ④マスクが汚染や水濡れ等で使用できなくなることを考慮し、替えを持参すること。
- ⑤使用済のマスクは会場で破棄せず、自身で持ち帰ること。

2. 大会当日の留意事項について

- ①大声での会話や指導は避け、常に1～2mの対人距離をとって行動する。
- ②当日の検温にて発熱が認められた場合は、会場内に入場しない。
- ③会場内で体調不良になった場合は、近くの大会スタッフに申告し、移動せずにその場で指示を待つ。